

20代のマナー術 ⑧

クレジットカード各社から、若年層向けのカードが発行されている。表。年会費が低かったり、ポイントが多かったり、通常のカードよりお得だ。例えば、ジェーシービー(JCB、東京)が昨年8月から発行開始した「エクステージ」は、入会資格を29歳以下に限った。加入年齢に上限のない同社の一般カードは年会費が通常1312円かかるのに対し、エクステージは無料。カードで買い物をするポイントがたまって商品券などに交換できるサービスでも、一般カードより多くポイントが付くようにした。

同社リテール営業部の上村若葉さんは「初めて入会したカードを最もよく使う『メインカード』にする傾向が高いとの調査結果が出ており、最初のカードに選んでもらうべく、魅力を高めた」と話す。

若者限定カード 会費など優遇

◆主な20代向けクレジットカード

	名称	発行企業	年齢制限	年会費
一般	エクステージ	JCB	18~29歳	無料
	イニシャルカード	三菱UFJニコス		1312円(※1)
ゴールド	ヤングゴールドカード20s	三井住友カード	20~29歳	3150円(※2)
	UCカード ヤングゴールド	クレディセゾン		3150円

※1) 学生の場合、在学中は無料。社会人も初年度無料

※2) インターネット経由で入会すると、初年度半額

(年会費については、利用状況などに応じて2年目以降も無料・割引になるものがある)

クレジットカードのなかには、券面を金色にし、通常カードよりも優遇サービスを受けられるゴールドカードもある。こちらにも、割安な年会費などを設定した若者限定カードが発行されている。

ただ、使い方には気をつけたい。クレジットカード事情に詳しい消費生活評論家の岩田昭男さんは「ポイントがためやすいなどのメリットがあるからといって、使いすぎて返済できなくなるとか延滞してしまうといったことのないように」とアドバイスする。身の丈に合った買い物を意識するのが肝心だ。

カード利用代金の支払い方式にも注意点がある。翌月やボーナス時の「一括払い」、数回に分けて支払う「分割払い」、毎月1万円などと支払額を一定に決める「リボルビング(リボ払い)」が代表的。このうち、3回以上の分割とリボ払いの場合は手数料がかかる。

特に問題となるのはリボ払い。経営コンサルタントの倉橋隆行さんは「カードによっては、契約段階ですべての買い物もリボ払いとするよう設定しているものもあり、知らずに手数料を払ってしまうことがある」と指摘する。

自分のカードの特徴をよく知り、賢く利用したい。